

平成 29 年 7 月 28 日

調査研修報告書（議員用）

報告者：横路政之 ㊟

実施場所：内閣府地方創生推進事務局	実施日：7月24日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） ・人口減少社会において、新しい開発が抑制され、遊休資産が増加する中、つくったもの、あるものをいかに活用するかという視点が重要になってきている。既存ストックの有効活用、開発したものの維持管理・運営（マネジメント）の必要性が高まっている。	
■参考とすべき事項 ・「つくること」だけでなく、「育てること」 ・住民・事業主・地権者等が主体的に進めること ・多くの住民・事業主・地権者等が関わり合いながら進めること ・一定のエリアを対象としていること 以上のような幅広い多様な主体による取り組みによる、エリアマネジメントの推進が求められている。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・これからのまちづくりは「つくること」から「育てること」へシフトしていく必要がある。 ・幅広い多様な主体が一体となって、地域の価値を高める様々な活動「エリアマネジメント」を推進する必要があるのではないか。	

調査研修報告書（議員用）

報告者：横路政之 ㊟

実施場所：きよぴー	実施日：7月25日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） ・高齢化が進む本市において、見守り、サロン等さまざまな取り組みがされている。 ・全国を見ると、すべてボランティアによる運営で高齢者の生きがいつくり、配食サービス等補助金に頼らない運営をされている「きよぴー」という活動団体がある。その秘訣を視察した。	
■参考とすべき事項 ・1、配食サービスを続けながら、世代間交流が自然にでき、 2、高齢者の生きがいつくりと、3、次世代を担う子供たちの支援ができる。 こんな町づくりをめざすため、商店街の一面に空き店舗を借用し拠点としている。 ・惣菜、ランチの提供、配食サービスで、空き店舗の利用料を捻出している。 ・ボランティア会員数は100名で、増加している。 ・ボランティアには、得意分野のみ活動してもらっている。好きなことは文句、愚痴はでない。知恵がでる。 ・オレンジ・サロンといって、認知者をかかえている家族の意見交換の場も提供している。 ・「考えるより動く」「動きながら考える」フットワークを良くする。そのためには、 ・初めから高い成果を狙わない（地域の課題は日常の延長線上のもの） ・目標の5・6割が達成されれば良しとする（肝心な点が達成できれば） ・行動しながら改良を重ね完成度を高める（動けば見えないものが見える） ・即解決できない課題は次に取り組めばよい	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・「きよぴー」の立ち上げのきっかけは、地域の高齢化に危機感をいだいた地元住民の、地域をどうにかしたいという純粋な気持ちである。すべてボランティアで運営されている。 ・本市では、サロン等高齢者の生きがいつくりの場は多くあるが、途中で解散などになるケースもある。仕組みづくりを提供する立場にある執行者は、ぜひこういった団体を視察し成功の秘訣を肌で感じてもらいたい。	

調 査 研 修 報 告 書 (議員用)

報告者：横路政之 ㊟

実施場所：多摩市議会	実施日：7月26日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） ・ユーチューブ（無料）を利用し、機器も市販の安価な物を利用して委員会中継を実施している、多摩市議会の取り組みを視察した。	
■参考とすべき事項 ・インターネットを利用して議会の会議を実況中継することにより、公平性及び透明性を確保し、市民に開かれた議会運営に努め、市民にもっとよく見え、わかりやすく、市民が参画できる議会運営の推進を図っている。 ・初期投資は10万円程度で、運用経費は既設回線を利用してユーチューブ配信（無料）を利用している。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・非常に安価な初期投資で運用経費は無料になるなど、実施の条件は経費面から見ると実現可能である。実施するかどうかを議論してみてもどうか。	